

第5回 大野警察署協議会

開催日時	令和8年2月20日（金）午後4時から午後5時10分までの間
開催場所	大野警察署
出席者	大野警察署協議会委員 5名 大野警察署署長以下 7名
協議会の概要	
<p>1 議事概要</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の報告</p> <p>(2) 令和7年度中の大野市の治安情勢</p> <p>(3) 令和8年上半期速度取締り指針説明</p> <p>(4) 令和8年度 協議会の体制</p> <p>2 意見・質疑及び応答</p> <p>○ 委員： 大野市の安全・安心に力を入れていただき感謝する。 特にパトカーが赤色灯を点灯させてパトロールをしてくれることはありがたい。 大野市が安全で安心な街であることが周知されれば、大野市のイメージアップにつながると思う。 中部縦貫自動車道延伸の影響で観光客が増えていることから、観光客を巻き込み、大野市の安全・安心に寄与する取り組みを行ってはどうか。</p> <p>● 警察： 治安の向上は、大野市の活性化につながるものと考えている。 委員意見のとおり、防犯を始めとする各種活動には、色々な方の参加が不可欠である。防犯意識の高い方だけでなく、防犯意識の低い方にも参加していただく必要があると考える。 警察の力だけでは限界がある。市民一人一人が自分を守るという意識付けが重要であり、そのためには、犯罪情勢など正しい情報と防衛策を警察から発信していかなければならないと考える。</p> <p>○ 委員： 寸劇による防犯広報などは行っているのか。</p> <p>● 警察： 今年度の寸劇は、大野市民吹奏楽団のファミリーコンサートにおいて、交通安全と詐欺被害防止に関するものや、ゴールデンウィーク期間中、城下町東広場において観光客に対して交通安全に関するものを実施した。</p> <p>○ 委員： 例えば、公民館単位など地域の協力を得て、住民が参加する寸劇などを行えば、知人が出演していることで観客も多くなり、防犯広報の効果が高くなるのではないか。また、出演者が高齢者だと、寸劇を通して防犯意識が向上するなど、より実効性のある防犯広報になるのではないか。</p> <p>● 警察： 地区単位での取り組みでいえば、新庄地区から「特殊詐欺被害防止宣言」をしていただき、国際電話休止サービスに加入して頂いた。 このように地区が自主的に活動し、そこに警察が関わることが大切である。</p>	

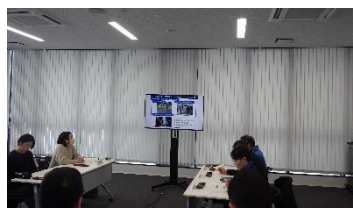
委員意見の「住民参加型の寸劇」については参考にさせていただく。

- 委員： 先日も荒島岳で遭難事故が発生したが、登山届は登山開始前に登山BOXに入れたり、インターネットで申請したりするが、下山したかどうかわからないのが現状である。また近年、外国人登山客が増えたことから、登山届もいくつかの言語で準備しておくほうがいいと思われる。
- 警察： 参考にさせていただく。
- 委員： 本年4月から自転車の違反が厳罰化されることも含め、大野市在住の外国人への対策について伺う。
- 警察： 外国人の入国後、間もない時期に、外国人受入企業と連携し講習会を開き交通安全や防犯指導など、日本で生活する上でのルールを指導している。指導の際は、受入企業の通訳人を介して行うなど対策を講じている。
- 委員： 今年も大雪となり、大野市内でも交通関係に影響が出た。その中で、警察官が手作業で信号機の積雪を落としていたが、信号機の数が多く、全部対応することは困難だと思う。今後、信号機に雪が積もらないような対策が必要だと感じた。また、除雪作業中、交通誘導員がいたが、特に吹雪の中では見えにくく、車と接触するのではないかと危険を感じた。
- 警察： 信号機のLED化により、省電力化が図れた一方で、熱を出さないことから信号機に雪が積もるといった問題が顕在化した。現在は、信号機の除雪について手作業でしか対応できない現状であり、今後対策が必要だと考えている。除雪作業員の視認性については、関係機関等を通じて委託業者に申し入れを行う。
- 委員： 除雪の影響で道路幅が狭くなり、通行が困難になる場合などは、その道路を一方通行にするなどの交通規制はできないのか。
- 警察： 降雪時期の前に、期間を定めて駐車禁止などの交通規制を行うことはあるが、委員質問の場合での一時的な交通規制は難しい。

3 開催状況



会長挨拶



議事の状況①



議事の状況②